

# アムス校友会通信

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

Vol. 7  
2012. 9

## 目次

ご挨拶	1	平成23年度決算・平成24年度予算報告	4
速報(新年互礼会開催!)	1	役員インタビュー	5
イベント報告(総会・特別講演会)	2	勉強会報告(レントゲンの診かた講座)	6
イベント報告(交流会)	3	アムス柔整学院の今	6
企画委員会・広報委員会平成24年度活動方針	3		

## ご挨拶

この度、広報誌vol.7を発刊できることに、大変喜びを感じております。

これも会員の皆さんのがんばりと、本業がありながらも校友会の活動を頑張ってくれている役員の皆さんのおかげであります。

アムス柔整学院はあと1年半で閉校になってしまいますが、校友会として、少しでも同じ釜の飯を食べた皆さんと業界の一助になればと役員一同頑張っています。

学院が閉校し、校友会まで無くなれば、我々の思い出まで無くなってしまうのではと考えると寂しさを感じてしまいます。

これからもどこまで活動できるかわかりませんが、役員一同頑張っていきますので応援してください。

会長 山脇功治

## 速報!!

平成25年1月13日(日)18時~



## 新年互礼会開催!!

※詳細は12月の郵送物でご案内します。11月ごろから校友会ブログでも情報発信します。

# イベント報告

校友会総会・特別講演会・交流会 平成24年6月24日(日) 学院6階にて

## 校友会総会

6月24日(日)にアムス校友会平成24年度総会が開催され、活動報告や予算・決算の承認が行われました。

今年から新入生の入学がなく、収入が少ないと赤字部分を削ったり、勉強会を多数参加されるよう話し合った結果が報告されました。

また北田先生、山脇会長から頂いた挨拶の中では医療改正など今や柔整業界は厳しくなっていく、という話が幾度となく出てきたのが印象的でした。3~4年前と今を比べて見てどうでしょう?店舗の数、柔整師の人数、確実に増加の傾向にあります。今までのやり方では生き残れない時代がきています。それを今からどうやって立ち向かっていくのか、生き残っていくのか、我々校友会役員をはじめ、会員皆さんの力が必要になっていくとおっしゃっていました。

私の意見としては、学院がこれで終わるのではなくバラバラにならないよう一つになっていき、これから柔整師の情報や意見を言い合える場がこれから必要になってくると思います。そのためには、いろいろな情報、意見を取り入れて自分のスタイルを築いていく必要があると思います。母校であるアムスを基盤にし、みなさんの力、情報がこれからもつながっていくよう、協力していきましょう。

[10期生 浮田大輔]

## 特別講演会

我々が日々、取り扱っている患者さんの身体、皆さんはどういう風に構成されているか、改めて聞かれるとどう答えていいかと戸惑いませんか?

今回の講義は校友会役員有志で事前勉強会を重ね、代表で宮崎副会長に「関節」を中心とした基礎医学に関する特別講演をしていただきました。

関節の構成要素である骨・靭帯・関節軟骨・結合組織

その四つに共通するキーワードは「コラーゲン」です。コラーゲンがどういったものかというと、らせん状の構造を持ちバネのような強度をもつので、いろいろな動きに対応出来るというメリットがありますが、一度伸び切ってしまうと戻れない上に、アミノ酸で構成されているため熱に弱く変性を起こしてしまうという性質を持っています。

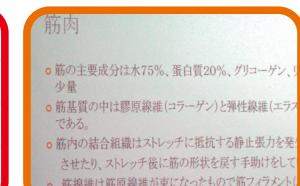
そして、捻挫などで炎症が起った時には、熱力学の「ボイルの法則」により、腫脹が増せば関節内の体積が増すため圧力が低下する=関節の潤滑が悪くなるということになります。

そのため、受傷後の腫脹にRICE処置の一つであるアイシングを行うか行わないかで治癒経過が変わってしまうのではないか?という宮崎先生の御意見を伺いました。

他にも、コラーゲンは肝臓で生成されているので、肝臓が悪い人はコラーゲンが主成分である靭帯・関節包などの治療も悪くなるということで、今回の特別講義では、「関節」を中心とした基礎医学というテーマですが、医学書からそのまま抜き出した言葉ではなく、コラーゲンの性質や熱力学の話など、一つのテーマに対して様々な分野から話を交えていただきました。

私事ですが、普段仕事をする中で、患者さんから身体に関する質問をされた時に、教科書通りの毎回同じような説明をしていました。しかし、患者さんによって反応が違うように感じるこもありました。もしかすると、教科書に書いてあることそのままの説明ではこちらの考えが今一つ伝わっていなかったのではないかと思います。術者だけが知っているようで、実際、患者相手にどういう風にアプローチをしていくのか?という視点で考え方直すキッカケとなる大変有意義なものとなりました。

インフォームドコンセントが求められる現在、「治す」ということを前提に話をする上で、基礎知識は患者にとって「安心感」を与えるツールにもなるということが講義を通して改めて理解することが出来て良かったです。 [10期生 内藤真佐宜]



## 交流会

今後の柔道整復師界の行く末に、頭を抱え…

基礎医学という、今回初の試みであった校友会主催の勉強会に頭を使い…

最後は、それらを一掃するほど楽しむ…

いつものパターンながら、それが一番楽しいお酒の飲み方かもしれません。

今回の交流会も、在校生・卒業生関係なく、大いに語らい笑い、そして互いを励ましあいました。

まずは木村企画委員長からご挨拶いただき、その後「楽しんでください!!」と気合の入った声で交流会はスタートしました。お肉の焼ける匂いに、今回初お披露目の豚汁、オードブルを囲みながら、春田先生のお茶目さタップリのトークが終われば、いよいよ乾杯!!懐かしい先輩に、後輩の皆さん。和気藹々としながらお酒で少し皆の顔が赤くなり、お腹もそろそろ満たされてきた頃…

お酒でボヤけかけていた頭を再び呼び起こすかのような、春田先生と三井先生からのゲーム開始の合図とともに、四択形式のクイズが有無も言わさず開始されました。卒業生在校生関係なく各チームに分かれての対抗戦でしたが、今回は商品(商品券・図書券・いつものマクドカード)がかかっていたので、皆「あーでもない。こーでもない。」「せやんな!!」等々の会話が飛び交いながらも、必死に正解を選んでいました。

怒濤のクイズラッシュに続いて始まったのは、さっきまでお酒飲んでましたよ?と思わずツッコンてしまいそうになる、体を張ったゲーム大会。まずは万歩計をつけて皆で腰を振って回数を競うアクションゲーム。在校生、卒業生、男性、女性問わず皆さんきっちり仕事をこなし会場は大盛り上がりを見せました。

ゲームの締めは、ありきたりだけどやってみると意外と大変な「うまい棒早食い競争」。「さっきまで口の中にあった水分はどこへいったの…」と競技をして下さった皆さんは思った筈です。でも、本当に飲み込んだか傍から見ても分かりにくいこともあり、急遽、審判として山脇会長が参戦。ど真ん中にどっしりと座った山脇会長の顔に競技者の皆さんが「あ~ん」と口を近づけて本当に食べたか確認してもらいました。かなり地味な光景でした…。参加して下さった皆さんは、口の中の水分を戻すべく、すぐに缶ビールにチュハイ、ジュースを口にされていました。

そんなハードな闘いを勝ち抜いた優勝チームには一人ずつ商品券を授与。思わず臨時収入に優勝チームの面々には自然と笑顔が満ちていました。

再び歓談をしばし楽しみ、最後は山脇会長から「今回の交流会は前にも増して楽しかったです。この校友会活動を続けるにあたり、益々皆さんのお力添えを頂きたい」と静かながらも力強く御挨拶をされ、今回の交流会も無事終了しました。

私は、今回の交流会も大変有意義な時間を頂きました。久々にお会いさせていただく先生・先輩・後輩方との出会いは、私にとってやはり「宝物だな」と改めて思いました。来年、学院で行う交流会は最後ですが、皆さん一人ひとりの交流は永遠ではないかと思います。次回は、秋のイベントで皆さんにお会いできることを楽しみにしております。これからも校友会活動にご協力を宜しくお願ひ致します。

[広報委員長 6期生 岡村優輝]

## 企画委員会・広報委員会

### 平成24年度活動方針

#### 企画委員会

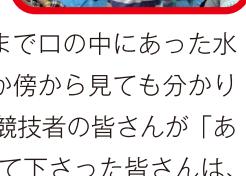
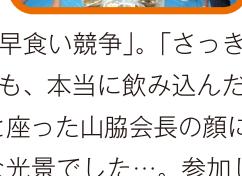
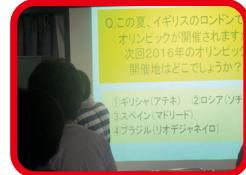
平成23年度同様、3つの親睦イベント開催を予定しています。

- 6月の「新入生歓迎会」を「交流会」へ
- 10月には「秋のイベント」を、来年1月には「新年互礼会」を開催予定。ぜひご参加ください

#### 広報委員会

スローガンは「アムス卒業生と在校生の交流を創る」

- 広報誌vol.7(今号)、vol.8を発行
- ブログの企画を充実させます ● 各委員会と連携を図り、イベント告知を行います



# 平成23年度決算・平成24年度予算報告

平成23年度収入		
項目	予算	決算
校友会費収入	2,000,000	1,850,000
勉強会収入	3,500,000	2,934,600
行事収入	250,000	163,000
コピー・プリペイドカード代	175,000	116,520
その他（銀行利子・協賛金等）	100,000	96,160
収入合計	6,025,000	5,160,280

平成24年度予算（収入）	
項目	予算
勉強会収入	3,270,000
行事収入	163,000
コピー・プリペイドカード代	110,000
その他（銀行利子・協賛金等）	100,000
収入合計	3,643,000

平成23年支出		
項目	予算	決算
役員会議費等	300,000	253,838
行事イベント費	830,000	1,111,157
学術勉強会費	3,486,000	3,233,193
通信費	801,000	774,947
事務諸費	252,200	180,972
図書室コピー機カウンター費	180,000	153,226
図書室コピー機リース費	215,460	75,411
エコー機械リース費	574,560	502,740
卒業記念品費	60,000	0
その他	0	286,106
支出合計	6,699,220	6,571,590

平成24年予算（支出）	
項目	予算
役員会議費等	250,000
行事イベント費	1,245,000
学術勉強会費	3,230,000
通信費	845,000
事務諸費	295,000
図書室コピー機カウンター費	120,000
図書室コピー機リース費	21,546
支出合計	6,006,546

平成24年予算収支	
項目	金額
前年度繰越額	10,848,383
平成24年度収支（予定）	▲2,363,546
平成24年度繰越額（予定）	8,484,837

平成23年決算	
項目	金額
前年度繰越額	12,259,693
平成23年度収支	▲1,411,310
平成23年度繰越額	10,848,383

## ポイント

- 昨年7月に学院の募集停止が発表されました。それを受けて、校友会としても今まで以上に卒業生のつながりを深めるべく、イベントについては予算を超えてでも多くの会員に参加してもらえる条件（参加費を抑える）で実施することを会議で決め、実行しました。

## ポイント

- 今年度より新入生入学がないため、会費収入が無くなりました。
- 閉校までの2年間（今年度・来年度）は、予算規模的に今までと変わらない活動内容を予定しています。
- 昨年度同様、親睦イベントについては今まで以上の予算を確保し、一人でも多くの会員の方に参加していただけるものにしたいと考えています。
- その他、実情に合わせた項目の再編成を行い、幾つかの項目を削除しました。

# 役員インタビュー!

日ごろから校友会活動を支えてくださる卒業生を紹介します！

## 柔道整復師を志した理由は？

初めは柔道整復師を目指していたわけではありませんでした。アスレティックトレーナーなどのスポーツのチームに関わる仕事がしたいと思っていました。その勉強をしていく中で実習などで実際にスポーツの現場にでるようになった時にトレーナーとして治療にもコンディショニングにも活躍される柔道整復師の先生に出会い、自分も治療の出来る資格が取りたいなと思ったのがきっかけでした。その後、整骨院でスポーツ選手や様々な患者さんを診ている先生のお話を聞くことができ、柔道整復師になりたいという気持ちが強くなり柔道整復師を目指しました。



**広報委員  
(第8期生)**  
**三井 慎也さん**

## これから目標は？

将来は地域の医療に貢献できるような整骨院を開業できるよう頑張って行きます。

## 柔道整復師になってよかったですと感じる事は？

患者さんに調子が良くなったときや、ありがとうと言ってもらえた時ですね。

続いて、今年から校友会活動を手伝ってくださる新人さんを紹介します。

※所属はこれから決まります  
(第10期生)

**川畠 仁志さん**



## 校友会に入ったきっかけは？

今まで同級生とのつながりが多くつたのですが、新しい出会いを求めて参加しました。

## これからしてみたい活動はありますか？

校友会のみんなでバーベキューをしてみたいです。

## 校友会ブログに載せたいことはありますか？

すいません。まだ加入したばかりではっきりとしたものがないので、考えていきたいと思います。

## どのような柔道整復師になりたいですか？

人間性、知識、能力を兼ね備えた柔道整復師になりたいです！

## 今後活動するにあたり、意気込みを教えて下さい。

校友会の皆で、為になる活動を追求し、成長に繋げていきたいです。

**広報委員  
(第10期生)**

**内藤 真佐宜さん**

## 校友会に入ったきっかけは？

校友会担当の豊田さんに誘っていただいたことが始まりで、以前から学校で行われている行事に興味があり自分も関わることが出来ればと思い入らせていただきました。

## これからしてみたい活動はありますか？

BBQや交流会などの楽しいイベントをブログなどを通して皆さんに伝えていければと思っています。

## 校友会ブログに載せたいことはありますか？

偉人・有名人の格言や名言が好きなのでそういうものを紹介できたらいいなと思っています。

## どのような柔道整復師になりたいですか？

患者さんから信頼・安心を提供できる整復師を目指したいです。

## 今後活動するにあたり、意気込みを教えて下さい。

まだ、入会して右も左もよくわかっていない状況ですが、少しでも貢献出来るように頑張ります。

## 勉強会報告

今回は7月29日（日）に実施した「レントゲンの診かた」講座を紹介します。講師の塙本先生は、校友会役員でもあり、放射線技師の資格もお持ちの学院4期生です。塙本先生がお持ちの豊富なX線画像を使って、普通の写真とX線画像の違いから、その診かた、X線画像に関しての整形外科との連携方法まで丁寧に教えてくださいます。

実際今回の受講生のアンケートでも

- かなりたくさんのX線が見れて良かった
- 普段あまり見ることの少ないX線ですが、しっかり見て判断できると正しい治療、より良い理療が患者さんに提供できるので改めて大事だと感じた
- 自分自身の弱い部分を補う面で今回参加させてもらった
- 基礎的な事がとても分かりやすく頭に残る内容だった
- 総論、各論と丁寧な説明がありイメージしやすかった  
という好意的なご意見をいただきました。



塙本先生からも「患者様のことを考えると、画像診断を参考に施術するのと、受けずに施術するのでは、患者様のリスクが大幅に違います。まして自分たち柔整師のリスクも変わってきます。私は、医療と整骨院の連携はとても大切だと思っています。講座では、そのことも交えて話させてもらいました。参加された皆さん、X線検査の重要性を理解していただけたと思います。今後の業務に生かせてもらえたと思います。」というコメントをいただきました。

今年度は2月に応用編(ゴメンなさい、基礎編の受講者のみ対象です….)も開催されますが、また来年度実施予定ですので、柔道整復師としての大変な素養の一つとして、是非受講→習得していただきたいと思います。

## アムス学院の今

このコーナーでは、卒業生の皆さんに普段お伝えできない学院の「今」についてご紹介したいと思います。

- 昨年7月に募集停止を発表してから、早いもので1年以上が経ちました。現在2年生と3年生、合わせて113名が日々の勉強に取り組んでいます。4階の教室を使わなくなったり、自転車置き場に余裕ができてきました。時折寂しさを感じるときもありますが、若い学生さんも多く普段は和気藹々とした雰囲気に満ちています。残り1年半で113名全員が無事卒業して国家試験に合格できるよう、日々学生も教職員一同も頑張っている毎日です。
- 学院で秋といえば「学園祭」。今まで11月に開催することが多かったのですが、今年は9月下旬開催です。1期生だけで開催した「東条湖ランドとソフトボール大会」以来、年代によって内容も変わってきますが、今年は3回目のUSJで自由行動。日頃の勉強や仕事で大変な日々を忘れて、いい気分転換と思い出づくりにして欲しいものです。
- そしてもう一つが11月の「財団認定実技審査」です。毎年審査直前の皆さんの真剣な練習風景が印象的なこの行事ですが、今年から審査方法に大幅な変更があり、柔整実技部門では今まで2名一組でペアを組んで審査会場（教室）に入って受審していたのが、なんと「1名ずつ」になる模様。その他にも変更点も多くあるようで、担当の先生方も試験財団から送ってきたDVDや資料に目を通しながら万全に対応できるよう取り組まれています。
- 卒業生の方が時々学院を訪問してくださいます。仕事上の相談であったり、求人の確認であったり、柔道の競技者登録であったりとその理由は様々。最近一番インパクトが強かったのは、卒業生同士で結婚されるお二人の当時のクラスメイトがお祝いのビデオ撮影に来られた時でした（私も飛び入りでメッセージを送らせていただきました）。目的は違えど、卒業生の方が学院に足を運んでくださって、近況を伺えるのはこの仕事をしている中での楽しみでの一つです。また皆さんも近くまでお越しになられた際には、ぜひともお立ち寄りください。お待ちしております。

[校友会事務局担当 豊田]

